

参加自由
無料

北海道における新時代の「ものづくり」 IT×農業の試み

北海道は、「ものづくり」の後進地と言われて久しい。道内には、製造業におけるオンリーワン企業がいくつか散見されるものの、ものづくり集積地としての強みには乏しい。他方、近年急速に注目が高まりつつある「メイカームーブメント」は、従来型のものづくりのあり方を革命的に変える可能性を秘めている。ものづくりに関しては大きく周回遅れだとされる北海道が、新しいタイプの「ものづくり」で強みを持つ可能性はどこにあるのだろうか。北海道の地域特性や産業特性を考える時、農業（酪農業や水産業など1次産業全般）、IT、そしてメイカームーブメントのコラボレーションにこそ、その活路を見出せるのではないだろうか。北海道における新しい「ものづくり」の可能性を、北海道の地域特性との関連で考えたい。

日時

11月6日(木)

13時30分より17時00分
(13時00分開場)

会場

北海道大学学术交流会館
大講堂

北海道札幌市北区北8条西5丁目6
(北大正門入って左)

講演

講演 慶應義塾大学環境情報学部准教授 田中 浩也 氏
「ウェブ社会からファブ社会へ」

講演 株式会社イーラボ・エクスペリエンス事業開発(R&D)
担当取締役 島村 博 氏

「Fab社会の到来:食と農のかしこい暮らし方」

講演 株式会社 SUSUBOX代表取締役
FabLabつくば代表 相部 範之 氏
「FabLabつくばの歩み」

パネルディスカッション

パネリスト 田中 浩也 氏, 島村 博 氏, 相部 範之 氏
コーディネーター 平本 健太(北海道大学大学院経済学研究科教授)